

「新しい林業」に向けた林業経営育成対策（継続）

【令和6年度予算概算決定額 153,895（202,388）千円】

<対策のポイント>

エリートツリー等の新たな技術の導入により、伐採から再造林・保育に至る収支がプラスとなる「新しい林業」の経営モデルの構築を支援するとともに、国有林において生産・造林の効率化技術等の実証を行います。

<政策目標>

主伐の林業生産性向上（5割向上〔令和12年まで〕）

<事業の内容>

1. 経営モデル実証事業

140,462千円

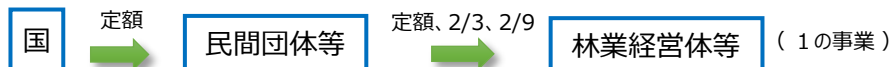
民間団体等が、研究機関などの支援機関と共同した実証事業を行う林業経営体を選定した上で、これらの者が新たな技術の導入により、**森林調査から素材生産・流通、再造林に至るまで収支がプラスとなる取組を行うのに必要な経費を支援**します。

2. 国有林活用型生産・造林モデル実証事業

13,433千円

国有林において、新たな**生産・造林の効率化技術等の実証**を行います。

<事業の流れ>



※ 2の事業は、国有林において直轄で実施

<事業イメージ>

「新しい林業」の経営モデルの構築

経営モデルの実証

造林の省力化



高度な情報収集

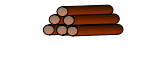


収益性等向上

省力化生産



需要に応じた生産・販売



経営モデルの構築・普及

「育てる」



「伐って」



収支のプラス転換

「植えて」



「使って」



関連施策



持続的な経営を担う森林プランナー育成支援



林業労働災害防止の支援



高性能林業機械導入支援



再造林の推進等

【お問い合わせ先】（1の事業）林野庁経営課（03-3502-1629）
（2の事業）業務課（03-6744-2326）